



あぶくま福祉会

だての郷通信

ひびき 令和5年4月号

発行 / 社会福祉法人あぶくま福祉会 生活介護事業所 **だての郷**

〒960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 TEL024-576-7799 FAX024-576-7815

4月の主な行事

- 4月3日（月）辞令交付式・理事長訓示
- 3日（月）～6日（木）ミニドライブ週間
- 8日（土）土曜利用日
- 13日（木）ダンス教室
- 14日（金）報奨金支給
- 17日（月）ジュース購入日
- 19日（水）誕生会
- 26日（水）～28日（金）春の歩こう会

4月生まれの皆さん

お誕生月おめでとうございます

齋藤幸大さん 谷津貴之さん

大槻美里さん

みなさん おめでとうございます。

今月の誕生会は、19日（水）に行います。

お楽しみに！

令和4年度のラストダンス楽しむ！



香先生に感謝の拍手を贈った利用者さんたち

だての郷では、毎月福島市にあるキャンダンススタジオの佐藤香さんを講師に招き、ダンス教室を開いています。3月16日は令和4年度ダンス教室の最終回でした。この日は、今年度ラストダンスということもあり、先生も気合を入れてご指導くださいました。最後に先生にお習いした BTS の♪「ダイナマイト」を踊り、香先生に感謝の気持ちを込め大きな拍手で御礼しました。新年度はさっそく4月13日から再スタートします。利用者の皆さんは、新年度の活動をお楽しみにしていました。

ごあいさつ

新年度がスタートしました。社会福祉法人あぶくま福祉会吉田理事長、だての郷保護者会谷津会長、中木施設長より、新年度にあたってごあいさつを申し上げます。



令和5年度のスタートにあたって



社会福祉法人あぶくま福祉会
理事長 吉田修次郎

桜花爛漫、今年も温暖化により桜だよりが早くやってきました。このお便りが皆さんのお手元に届く頃には満開となっているかもしれません。本当に過ごしやすい季節となり、利用者の皆さんにとっては、外での活動が楽しみな季節を迎えました。

さて、新型コロナウイルス感染症は4年目に入っており、長い間、対面での活動が自粛され、マスクで顔を隠す生活が続いておりますが、このところ少し感染者が減少してきており、国では3月13日からマスクの着用は個人判断となり、そして5月8日からは感染症法を改正して2類相当から5類に移行するとしています。社会的にはイベント等での声出し応援や会食等も緩和されあたたかも収束した感もありますが、感染者は毎日発生しておりますし、型を変えていつまた流行するかわかりませんので、利用者の皆さんには、当面の間はこれまで通り感染症対策を施しながらの支援となります。そして、感染状況を勘案しながら、施設での活動を徐々に感染前に戻していきたいと考えております。ご家族の皆さんには、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、平成29年から始めました社会福祉充実計画事業も6年を要してようやく昨年度で完了し、ほどはら授産所の花卉園芸ハウスが完成、冬季間寒風の中の作業からハウス内での作業となり作業環境を改善されたものと思っております。

しかし、この間、充実計画で多額の資金を投入し、併せてこの事業とは別途に昨年は両施設の空調設備の入れ替えや送迎システム変更によりワゴン車の購入、だての郷の雨漏り改善の為に屋上防水シートの張替え、浄化槽工事等多くのハード事業を行いました。

更に輪をかけ昨年末からの光熱水費や食料品を始めとする諸物価高騰もあり、各施設の財政状況は大変厳しいものとなっております。

このことは、過日開催しました、理事会、評議員会でも理事・評議員の皆様から大変厳しいご意見、ご指摘を頂きました。

従いまして、令和5年度は、用紙1枚無駄にすることなく、経費節減の徹底を図り、法人の財政健全化を進める必要があります。

私たちは財政厳しい中では有りますが、利用者サービスの向上を図っていく必要があります。これからも社会福祉法人の使命である「地域に開かれた施設」として地域貢献、公益事業の実施と共に「利用者のための施設」として努力をしてまいりたいと思っておりますので、保護者の皆様には、より一層のご理解ご支援を頂きますようお願い申し上げます、新年度スタートにあたってのご挨拶といたします。



新年度スタートにあたって

だての郷保護者会

会長 谷津 絹子

保護者会会員の皆様には、日頃から保護者会活動にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。保護者会活動もこの3年間行動制限等もあり、思うように出来ませんでした。政府からの発表で、マスク着用が令和5年3月13日以降個人の判断に委ねられました。5月8日以降感染法上の位置付けを、季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行されます。だての郷においては、当面の間マスク着用が必要となります。今回コロナに対しての政策が変わりましたので、今年から保護者会活動も皆様のご意見をいただき、施設と相談しながら利用者の将来の為に、他の施設を見学したり勉強会を実施して行きたいと思っております。

昨年末に偶然にも養護学校の恩師と再会しました。その方もダウン症のお子さんがいますので、お母さん方の気持ちはよくわかっており「遠慮せずに自分の子供の為に要望があればどんどん言った方が良いですよ。応援しています。」と背中を押していただき勇気ももらいました。今年度は利用者の楽しみを増やすために、早急にほどはらのハウス跡地の再利用計画案を出していただきたいと思っております。分室も雨漏りしたりして老朽化が進んでいます。以前にも要望を出していますが、緊急避難所にも対応でき、又利用者に優しい障害者用トイレを完備した建物を建てていただきたいと思っております。社会福祉事業者の使命である「地域に開かれた施設」「利用者一人一人が生き生きと日々楽しく過ごせる施設」を目指していただき、利用者の為の施設づくりをしていただきたいと思っております。

結びに今後共、保護者会活動にご理解とご協力をさせていただきますよう、よろしく願い申し上げます。私も保護者会会長として、微力ですが尽力をつくして参りたいと思っております。簡単ではございますが、新年度を迎えてのご挨拶とさせていただきます。

充実した1年に

だての郷施設長 中木 雅彦

だての郷利用者・保護者の皆さん、新年度「令和5年度」を迎えました。依然として続く新型コロナウイルス感染症への心配と物価高等による支出見直しなど、課題多い新年度のスタートになりました。

コロナ感染症の国の基準緩和で、マスク着用が各人の判断に委ねられ、来月からはさらに感染対策分類が5類に引き下げられます。当施設もその基準に沿ってほしいと思う保護者さんもいらっしゃるかもしれませんが、ここは重症化リスクを抱える方が多く、集団感染の心配があり、マスク着用、三密回避、手洗い・うがいの励行でコロナ対策を継続していきますので、ご理解・ご協力どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて小職も着任以来4年9か月がたちました。施設運営面では、利用者の皆さん、保護者の皆さん、職員の皆さんとコミュニケーションを深めながら、施設運営をしております。利用者さんがうれしいことや楽しいことは2倍に、悲しいこと、つらいことは半分にしてあげて皆で分かち合うことを信条に業務にあたっていきたいと思っております。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

だての郷の年間行事・月ごとの行事は、今年も実施時期の新型コロナウイルスの感染者数を判断基準に行きまわりたいと思っております。利用者さんの活動班は今年も2班体制で行います。職員一丸となって一生懸命利用者さんの支援に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

結びに、今年度も先が見えない社会情勢の中、初心に帰って利用者さんのことを思い、寄り添い、「だての郷に来てよかったあ」と言っていただけのように、利用者の皆さんの居心地が良い施設運営をしてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和5年度
だての郷支援計画発表！
寄り添う心とフットワークを！

だての郷
管理者 高橋健二

新年度が始まりました。みなさまがだての郷に笑顔で元気に利用していただけるよう、まずは私たち職員がいつも笑顔で支援に努めてまいりたいと思います。

利用者みなさんの思いや変化に気づき、それに応えることのできる支援を実践できるよう、情報共有とチームワークを大切に工夫を重ねてまいります。

また利用者の方にも個性があるように職員にも個性があります。職員もそれぞれの強みを支援に発揮できるようにしていきたいと感じております。

ご本人様とご家族様からの声を大切に支援にあたってまいりますので、よろしくお願いいたします。続きまして、活動各班から今年度の抱負をお伝えします。



レインボー班

鈴木芳彦さん 佐藤 潤さん 本間正志さん 佐藤 実さん
二瓶 学さん 八巻研二さん 菅野隆仁さん 岡崎雄一さん
谷津貴之さん 原 啓さん 菊地晴美さん 大槻美里さん
井上美和さん 枝並牧穂さん



レインボー班の皆さん

今年のモットーは・・・～虹のように色鮮やかな毎日を～

例年より早く桜も咲き始めるほど暖かい日が続き、過ごしやすい季節となりました。班編成も行われ心機一転、気持ち新たに新年度を迎えたところです。

レインボー班は、体力があり体を動かすのが得意な方、手先が器用な方、読み書きに長けている方、熱心に作業等に取り組む方、お話上手な方々が明るく元気に活動しています。より充実した毎日をだての郷でお過ごしいただけるよう、皆様に寄り添った支援を心がけていきますので一年間どうぞよろしくお願いいたします。

「一人ひとりの個性が輝く」笑顔いっぱいのレインボー班にしていきましょう！

レインボー班担当 佐藤麻美、佐藤義弘、野村光子



クローバー班

渡辺正秋さん 鈴木康展さん 後藤 勝さん 井田裕矢さん
 尾崎隆信さん 佐藤信也さん 斎藤幸大さん 萩原良一さん
 佐藤晋也さん 高橋直翔さん 渡邊祥江さん 山口美保さん
 浅野恵美さん 三浦沙紀さん



クローバー班の皆さん

今年のモットー・・・「明るく」「楽しく」「仲良く」「元気に」

今年度で班編成が2班制になり3年になります。

3月にはだて支援学校を卒業した新メンバーも加わり、クローバー班も約半数の方々が変わってのスタートになります。

今年度もクローバー班の抱負、目標の「明るく」「楽しく」「仲良く」「元気に」のモットーは継続して毎日活動、各月行事等に取り組んでいきます。

コロナ禍でまだまだ制約されている状況ではありますが、今やれる事、今出来る事に知恵を絞り、以前のような行事や活動に少しでも近づけ皆様に楽しく喜んでいただけるよう努めます。

また、各メンバーの体調やケガ等、健康に留意して、安心・安全を最優先に、年度末には「一年間 みんなで頑張ったね !!」と笑顔で言えるよう支援を行って参りますので、これからも引き続きご支援、ご協力の程よろしくお願いいたします。

クローバー班担当 熊坂正俊 岡崎文子 遠藤義孝

◎主な年間行事

実施月	主な行事	実施月	主な行事
4月	春の散策会	10月	早朝奉仕作業 あぶくま祭 さつまいも収穫
5月	さつまいも植え	11月	秋の散策会 生活習慣病検診
6月	ゴミ拾い（公益的事業）	12月	クリスマス会 忘年会
7月	外食体験 法人創立記念日 行事「ジェラートのつどい」	1月	初詣（ミニドライブ） 新年を祝う会
8月	社会体験会	2月	節分のつどい（豆まき） バレンタインデー
9月	日帰り旅行会 交通安全教室	3月	ホワイトデー 内科検診

車いす寄贈受ける



車いすとマスクを受け取る中木施設長（写真左）

3月14日、福島県社会福祉協議会の紹介で、福島県自動車整備振興会福島支部様から、あぶくま福祉会「だての郷」に車いすとマスクの寄贈がありました。

この日は県社協から依頼を受けたエヌケイ商事の方が、だての郷にお届けにられました。寄贈いただいた車いすは、だての郷利用者さんの施設内外の移動の際に使用することにしていきます。ご寄付に感謝申し上げます。



利用者さんの内科検診をする山本先生（写真右）

3月13日、だての郷の利用者さんの内科検診を行いました。当日は、だての郷嘱託医の福島松ヶ丘病院院長 山本俊昭先生に、利用者さんの内科的な健康状態を診ていただきました。また嘱託看護師の野村富子さんにも来ていただき、毎月の定期的な健康チェックの情報をもとに、利用者さんの日々の健康状態を山本先生に伝えていただきました。

利用者さんたちは順番を守り、山本先生の診察を緊張した面持ちで受けていました。検診結果は保護者様にお知らせしたところで、ご家庭でも利用者さんの健康管理に役立ててください。

3月生まれの皆さんの 誕生日を祝う！



3月23日に、3月生まれの利用者 菅野隆仁さんと三浦沙紀さんの誕生会を行いました。みんなで♪ハッピーバースデーを歌い、二人を祝ってチョコパフェをいただきました。誕生者のみなさん、おめでとうございます。

この日は、インタビューコーナーや佐藤史江支援員のウクレレ演奏もあり、楽しい集いになりました。

今回で令和4年度だての郷利用者さん全員の誕生をお祝いしたことになります。皆さんおめでとうございます。新年度も毎月誕生会を行います。お楽しみに！

3月誕生者菅野隆仁さんと三浦沙紀さん（上の写真）
二人を祝ってチョコパフェをいただく利用者さんたち（下の写真）

新規利用者 高橋直翔さんを迎える



分解作業をする高橋直翔さん

3月6日、だての郷に今年3月だて支援学校高等部を卒業した高橋直翔（たかはしなおと）さんを、新しい仲間として迎えることができました。

当日、朝の会で中木施設長から利用者の皆さんに新利用者高橋さんを紹介し、「心から歓迎します。みんなと仲良く活動してください」と歓迎の言葉を述べました。

高橋さんにはだての郷の過ごし方や作業、行事体験をしていただき、多くの利用者さんとふれあい、友達を作って元気に頑張ってくれることと思います。

直翔さんに直撃インタビュー！

だての郷に通って3週間が過ぎました。だての郷の活動に少し慣れてきた直翔さんにインタビューをしました。自己紹介を兼ね、いろいろと答えいただきました。



Q 誕生日はいつですか。

A 6月13日

Q どこにお住まいです

A 川俣町

Q 血液型と星座は何ですか。

A A型 ふたご座

Q 趣味は何ですか。

A 新聞を読むこと

Q あなたの自分の長所は？

A ない

Q 自分の短所は？

A 泣くこと

Q 好きなテレビ番組は何ですか

A アニメ番組

Q 好きな食べ物はなんですか。

A パン、お肉、ご飯、お菓子

Q 好きなアーティスト 音楽(楽曲)

A 特にいません

Q 好きなスポーツはなんですか。

A ウォーキング

Q 自分の時間はどんなことをしていますか。

A タブレット端末を見ている

担当職員から

直翔さん、ご家族の皆様、ご卒業おめでとうございます。

支援学校とは、環境などが違い戸惑うこともあると思いますが、毎日元気に出勤していただき、いろいろなことに興味を持ってチャレンジして、できることを増やしていただければと思います。

私たち職員も全員で支援を行ってまいります。よろしくをお願いします。

(熊坂支援員)

お家の方から

だて支援学校から卒業してこの春から、だての郷に来ました高橋直翔をよろしくお祈りします。

これから、みんなと一緒に生活できるようになりたいと思います。毎日だての郷に通えるよう、家庭でも応援していきたいと思います。

直翔の母より

トピックス①

佐藤史江支援員へ感謝の気持ち込め 「ありがとうの会」開く



ありがとうの会スナップ写真から

だての郷 佐藤史江支援員が、本年3月31日付けをもって退職されました。

3月31日に佐藤史江さんへの感謝の気持ちをこめ、ありがとうの会が行われました。佐藤さんのあいさつの後、佐藤さんのウクレレ伴奏で佐藤麻美支援員と高橋管理者が歌を披露、そのあとお菓子をいただき、結びに渡辺祥江さんから花束の贈呈を行い楽しくお別れ会を行いました。佐藤史江支援員は、利用者さんたちに惜しまれながら、だての郷を去って行かれました。

在職いただいた5年間、ありがとうございました。今後のご活躍をお祈り申し上げます。



暖かい春の日差しが心地よいですね。よつば3年目になりました。相談支援利用契約者は50人となりました。

利用者さんや保護者のみなさんに寄り添い、ご本人の今後の生活について一緒に考えていけるように努めてまいります。

今年度も「相談支援事業所よつば」をどうぞよろしくお願いいたします。

相談支援専門員 木村千賀子

960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100

だての郷内

電話 024-597-6039 FAX 024-576-7815

編集後記 / 4月春爛漫、新年度事業実施に向け心弾む時期ではありますが、マスク着用が自主判断になり、来月には5類引下げ等新型コロナウイルス感染症に対する対処の仕方が緩くなりますが、集団感染の心配は消えません。またウクライナ戦争の長期化による電気料金をはじめ諸物価の高騰や、法人はじめ各施設予算の収支にも不安な材料を抱え、課題多い新年度のスタートとなりました▼明るい話題としては、当施設に新規利用者、高橋直翔さんが加わりました。3月にだて支援学校高等部を卒業したばかりの新社会人です。ご利用ありがとうございます。利用者の皆さん、よろしくお祈りします▼今年の支援の目標は昨年からの継続で「寄り添う心とネットワークを！」をキャッチフレーズに、毎日利用者さんが楽しく施設を利用できるよう心を寄り添い、今年も2班体制で支援してまいります▼6年前に戻って4月分から給食費の食材費のご負担を再開いただくこととなりました。値上げの春となった今、あまり良いタイミングではないのですが、どうぞよろしくお願いいたします▼年度末2名の職員の退職がありましたが、4月1日付けで臨時職員の採用もあり、新たな体制で支援してまいります。令和5年度も保護者の皆様の温かいご理解・ご協力よろしくお願いいたします。(M)